

【学園祭 オープンキャンパス 報告】

一味違った今年の秋桜祭と学友会相談コーナー

企画委員 山口 和也(51 回生)

快晴の京都市内から保津川沿いのトンネルを抜けると別世界の光景が待っていました。初めて見る霧に覆われた亀岡盆地、車窓からの景色はスローモーションのごとく心を和ませてくれるものでした。園部に着くころには霧は晴れ、駅を降りるとにぎやかな音楽が大学から降り注いでいました。平成 20 年の秋桜祭は 10 月 18 日（土）に開催されました。今年も大学のオープンキャンパスと同時開催で、母校愛に燃える学友会の理事の方々にはキャンパス内を奔走、オープンキャンパスに、ゲートボール大会に、恒例の相談コーナーにと大忙しの一日でした。



埜藤 学友会会長

学友会が大学のオープンキャンパスに参画、埜藤会長がガイダンスに登壇、本学の誇り学友会組織を紹介されました。また大学企画の受験生・保護者相談コーナーに卒業生相談コーナーが設けられ、私も埜藤会長、笠井先生とご一緒に担当し、保護者、受験生の不安を解消すべく誠意をこめて対応しました。

もうひとつの秋桜祭、ゲートボール大会に学友会選抜チームが念願の初出場を果たしました。晴天のグラウンドに神澤副会長、岡本先生、遠山先生、OBの西岡さん（短 16）、上野さん（短 15）の学友会チームが応援団の声援をうけ臨みました。しかし数々の教訓を残してゲームオーバー、敗者復活戦まで用意して頂きました。地域に生き、地域に育つ大学の観点から新しい歴史が始まったとの印象を持ちました。



恒例の学友会相談コーナーは学友会理事がオープンキャンパスに参加のため、随時開催というスタイルで行われました。保護者、受験生が時折訪問するなか、若い世代の卒業生がお土産を片手に来訪、埜藤会長、神澤副会長、山田先生、西谷先生、笠井先生が出迎え、お話を交わすこのコーナーならではの光景でした。在校生との交流、後輩や諸先輩そして恩師の先生方との語り、心身のリフレッシュができたことはいまでもありません。

以上

* 通巻 190 号 2009 年 1 月 10 日発行(H20-No.4)より